

# 高大接続改革の目指すもの

－ その方向性と大学入試のこれから －

林 篤裕

(名古屋工業大学 社会工学専攻  
& アドミッションオフィス)  
e-mail: hayashi.atsumi@nitech.ac.jp



資料掲載URL: [stat.web.nitech.ac.jp/haifu/#OpU1810](http://stat.web.nitech.ac.jp/haifu/#OpU1810)

# もくじ

1. 大学入試の変遷
2. グローバル社会に向けて
3. 多面的・総合的入試への道
4. アドミッション・オフィス入試と  
そのいろいろな選抜方法
5. まとめに代えて
6. 事前にいただいたご質問に対して

## 1. 大学入試の変遷

### 入試の種類(区分)

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/senbatsu/1346785.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/senbatsu/1346785.htm)  
入学者選抜実施要項

#### U 一般入試 (e 一般選抜)

国立大学の場合

- U 一期校・二期校 (1949年(S24)-1978年(S53))
- U 共通第1次学力試験+個別学力試験  
(1979年(S54)-1989年(H1))
- U 大学入試センター試験+個別学力試験  
(1990年(H2)-2019年(H31)?)
- U 大学入学共通テスト+個別学力試験(2020年(H32)?-)

#### U 多様な入試方法 (かつては「特別入試」)

- U AO入試 (e 総合型選抜)
- U 専門学科・総合学科卒業生入試
- U 推薦入試 (e 学校推薦型選抜)
- U 帰国子女入試・社会人入試

## 大学入試の外形的定義

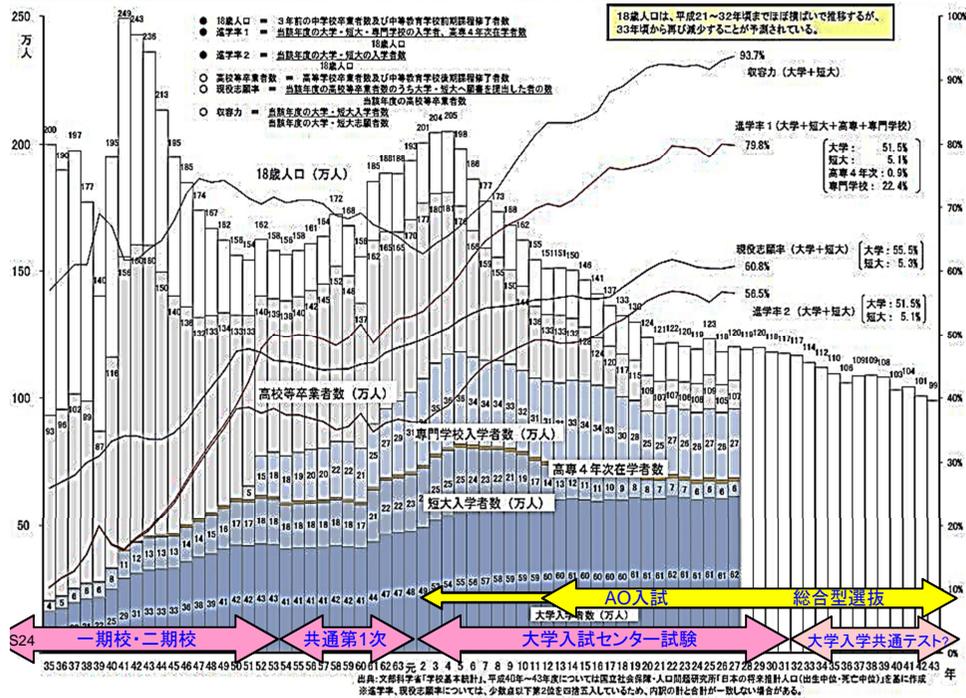
	一般選抜	学校推薦型選抜	総合型選抜
受験資格	高校卒業	ほとんど現役のみ	現役とは限らない
推薦	不要	学校長による1人1推薦	受験生の自己出願
定員比	前期/後期	5割まで	推薦と併せて5割未満
入学義務	制約なし	あり	課す場合は大学の責任で
実施時期	2、3月	11月以降に募集・実施	特に規定なし
指定校等	なし	大学によって異なる	大学によって異なる
センター試験	課す	課す/課さない	課す/課さない
選抜方法	学力検査	小論文、面接など	他に、面談、講義等、多様

国大協が取りまとめ、入試センターを介して実施

国大協と高等学校校長会との取り決めによる

特に制限がない選抜で、全ては実施大学の責任で

2010年からガイドライン8月以降に募集



## 共通第1次学力試験・ 大学入試センター試験の実績(1)

- u 11回+29回の実績
  - u アラカルト方式への変更等は有ったものの
  - u 『高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定することを主たる目的とする』
- u 単なる知識を問う設問ばかりではない
- u 高等学校教員からの評価が低いとは思わない。大学教員からも。
- u いつまで経っても「〇×式試験」と思われているフシがある
- u 現状の試験で何が問題なのか?
  - u 1点刻みはダメ? 1回勝負はダメ?
  - u 思考は問えていない? 知識を問うことは不要?

## 共通第1次学力試験・ 大学入試センター試験の実績(2)

- u 大学入試、特に共通試験
  - u 学習指導要領に基づく評価
  - u 学習努力を評価する試験
  - u 何をすれば高評価が得られるかが判っている試験＝目標
- u 高校現場には明確なメッセージとなっている
- 別の観点から(国公立大学の場合)
  - u 分離・分割方式(前期・後期日程)の定員確保措置
    - u 大学入試センターの役割: 合格者の把握・周知
    - u 前期日程の入学手続き者の把握・周知

## 共通学力試験と 個別学力試験の役割分担

- u 『入試』: 入学後の修学に耐えうるかの確認  
求める学力を有しているかの確認
- u 学習の基礎的な部分(全体的な把握)と、  
応用的な部分(部分的な把握)の評価を  
分担して棲み分け
- u 二つを合わせることによって機能(国公立大学)
- u 基礎学力の確認のための共通学力試験に  
過度な負担(期待?)を盛り込むべきではない
- u 方式もシンプルに: トラブル、影響、目標、.....
  - u 56万人の志願者と800近い大学の「接続面」として

## 外部試験導入時の考慮点

- u 民間の検定試験の活用: 英語の4技能評価
- u 共通第1次学力試験の導入の功罪
  - u 基礎的な学習の達成の程度を測定すること
  - u 難問・奇問の排除
  - u 良問の出題
  - u 共通の尺度≒輪切り現象、序列化
  - u 実施規模の拡大
    - l 厳密性が求められ過ぎているくらい
    - l マニュアルが厚くなる一方
  - u 作題者の育成: 作題経験のない大学教員、技術伝承、誰が育てる? ==> 深刻な問題
    - l 教養部解体も時を同じくして進行してしまった

## 2. グローバル化社会に向けて

- u グローバル化社会
  - u 人、モノ、カネ、制度(教育を含む)が一体となって世界を巡る流動・競争社会
  - u 世界的な教育の質保証:
    - l ボローニャ・プロセス(ヨーロッパ)
    - l インターナショナル・バカロレア(IB)
    - l アクレディテーション(Accreditation, 適格認定)
- u 知識社会から論理思考社会へ
  - u 外から知識を獲得できていた時代から新しいことを生み出す必要のある時代へ
  - u 単なる「知識再生だけ」では対応できない社会
- u このような時代を生き抜く人材の育成

## 超ユニバーサルな高校教育・ユニバーサルな高等教育の質保証

- u 米国の社会学者マーチン・トロウ (Martin Trow) の定義:
  - 進学率
    - ・15%まで: エリート段階
    - ・15%-50%: マス段階
    - ・50%以上: ユニバーサル段階
    - o だれもが進学する「機会」が保証されている状態
- u 高校への進学率=99%: 事実上の義務教育化
  - u 普通科、専門学科(職業科)、総合学科
  - u 「多様化」の名の下にあらゆる層が入学してくる時代 ==> 卒業させる必要性、高校教育に歪み、質保証
- u 大学+短大への進学率=57.9% (平成30年度 学校基本調査)
- u もう一様なルールでの議論・運用は困難では?

## 三位一体改革

- u 高等学校教育、大学教育、そして、両者を橋渡しする大学入学者選抜制度
- u 「**多面的・総合的評価**」
- u 最近の流れ
  - u 2014年12月 中教審答申「新しい時代に.....」(※)
  - u 2015年 1月 高大接続改革実行プラン
  - u 2015年12月 国立大学協会「最終報告」に向けて
  - u 2016年 3月 高大接続システム改革会議「最終報告」
  - u 2017年 7月 高大接続改革の実施方針等の策定
    - l ※新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について ~ すべての若者が夢や目標を芽吹かせ、未来に花開かせるために ~
- u 「**生煮え**」、現実とのズレ、理想論、.....

### 3. 多面的・総合的入試への道(1)

- 21世紀を展望した我が国の教育の在り方について(第二次答申)
  - ┆ 1997年6月26日(H9) / 中央教育審議会
  - ┆ [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chuuou/toushin/970606.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chuuou/toushin/970606.htm)

目次

#### 第2章 大学・高等学校の入学選抜の改善

- (3) 大学入学選抜の改善等の具体的な取組
- (B) 入学選抜の改善を進めるための条件整備など関連する施策の推進
- [1] アドミッション・オフィスの整備

- 初等中等教育と高等教育との接続の改善について(答申)
  - ┆ 1999年12月16日(H11) / 中央教育審議会
  - ┆ [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chuuou/toushin/991201.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chuuou/toushin/991201.htm)

#### 第5章 初等中等教育と高等教育との接続を重視した入学選抜の改善

##### 第4節 接続を重視した具体的な改善方策

- (1) 入学選抜そのものの具体的な改善方策
  - 1 各大学が多様な進学希望者の能力・適性等を適切に評価するための選抜方法の開発
  - 2 丁寧な入学選抜を行うための体制の整備等

13

### 3. 多面的・総合的入試への道(2)

- 新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学選抜の一体的改革について(答申)(中教審第177号)
  - ┆ 2014年12月22日(H26) / 中央教育審議会
  - ┆ [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1354191.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1354191.htm)

- 2. 新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた改革の方向性
  - (1) 各大学のアドミッション・ポリシーに基づく、大学入学希望者の多様性を踏まえた「公正」な選抜の観点に立った大学入学選抜の確立
  - ① 各大学の個別選抜改革
  - (4) 新テストの一体的な実施
  - 3. 改革を実現するための具体策(「高大接続改革実行プラン(仮称)」の策定)
  - ④ 評価方法の改革

※新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学選抜の一体的改革について～すべての若者が夢や目標を芽吹かせ、未来に花開かせるために～

14

### 3. 多面的・総合的入試への道(3)

- 高大接続改革実行プランについて
  - ┆ [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo12/sonota/1354545.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo12/sonota/1354545.htm)
  - ┆ 2015年1月16日(H27) / 文部科学省

#### Ⅲ 具体的な取組施策

- 1 各大学の個別選抜の改革
- 2 「高等学校基礎学力テスト(仮称)」及び「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の実施

#### (2) 新テストの実施主体

- 「国立大学の将来ビジョンに関するアクションプラン」の公表について
  - ┆ 2015年9月14日(H27) / 国立大学協会
  - ┆ <http://www.janu.jp/news/teigen/20150914-wnew-actionplan.html>

ポイント 1: 優れた資質・能力を有する多様な入学者の確保と受入環境の整備

15

### 3. 多面的・総合的入試への道(4)

- 高大接続システム改革会議「最終報告」の公表について
  - ┆ 2016年3月31日(H28) / 高大接続システム改革会議
  - ┆ [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shougai/033/toushin/1369233.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/033/toushin/1369233.htm)

#### Ⅱ 高大接続システム改革の基本的な内容

- ウ 大学入学選抜改革
- Ⅲ 高大接続システム改革の実現のための具体的方策
- 3. 大学入学選抜改革
  - (1) 大学入学選抜改革の基本的な考え方
  - (2) 個別大学における入学選抜改革
- エ 個別大学における入学選抜改革を推進するための支援

#### ● 高大接続改革の実施方針等の策定について

- ┆ 2017年7月13日(H29) / 文部科学省
- ┆ [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/29/07/1388131.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/07/1388131.htm)

平成33年度大学入学選抜実施要項の見直しに係る予告(P41-)

#### I. 大学入学選抜に係る新たなルールについて

- 1. 趣旨

16

# 大学入学共通テスト

- u 大学入試センター試験に代わる共通学力試験
  - u 2020年度(平成32年度)から実施(2021年1月): **現高1**
  - u 高大接続改革の実施方針等の策定について
    - | [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/29/07/1388131.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/07/1388131.htm)
    - | 平成29年7月13日
- u 主な変更点
  - u 国語と数学: 記述式問題を導入(各3問程度)
  - u 英語4技能の評価: 読む(R)、聞く(L)に加えて、} 外部試験  
話す(S)、書く(W)
  - u 多肢選択式で、より思考力・判断力・表現力を評価できるように、その内容や形式を見直す
  - u 見送り: 年複数回実施、合教科・科目型試験、総合型試験、CBT方式の採用 17

# 教科・科目試験とは異なる視点

- u 目的: [正解が1つに定まる]従来型試験では測れない
  - u 「知識・技能」のみならず「思考力・判断力・表現力」や「主体性・多様性・協働性」を測定: 『学力の3要素』
  - u 適性(アドミッションポリシーとの適合)
    - | 公平性を保った上で「採りたい」生徒を選考
- ===> 「多面的・総合的試験」の導入
- u 教科・科目試験を含めた総合的な評価により選抜
- u 評価側: 平等性・公平性・客観性、  
審査委員の美学・審美観、.....
- u 「1点の呪縛」からの開放
- u 主にAO入試で実施されてきた ===> 一般選抜でも  
(アドミッション・オフィス)

## 4. アドミッション・オフィス入試

- u 元々はアメリカが起原
  - u 大学職員(not 教員)が選考
  - u 主には高校修学時の履修科目のチェック
  - u 「出口管理の国」での制度 <===> 日本: 入口管理
- u 1990年: 日本では慶應義塾大学が嚆矢・鎚矢
  - u 日本の入試文化に対応するように **改變して** 持ち込む
  - u 2000年「AO入試元年」
- u 2007年: 韓国も導入 = アメリカ型のAO入試
  - u 入学査定官制度: 公平性の担保にも腐心しているようだ
  - u 教育問題が政治的課題になり易い。私塾への風当たり

## 日本におけるAO入試の変遷

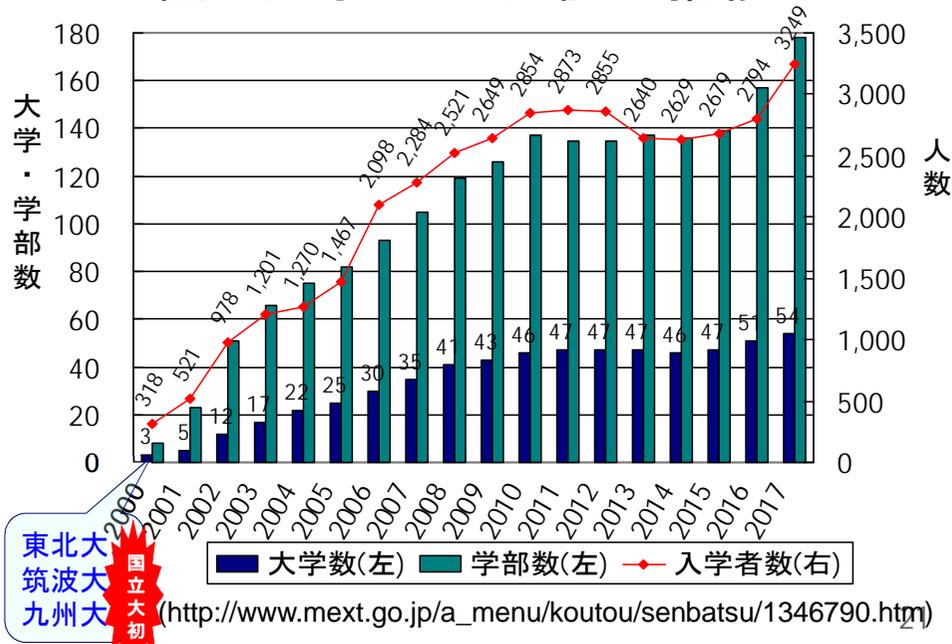
AO = Admissions Office

アメリカの大学で入試業務を担当する組織

詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって、受験生の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に判定する入試方法 (文部科学省)

1990	慶應大学湘南藤沢キャンパス(SFC)	
1997	中央教育審議会第二次答申(6月)	
1999	国立3大学(東北、筑波、九州)にアドミッションセンター	
2000	70余大学が実施(AO入試元年)	
2017	国立 54大学 (全82大学) 66%	43大学 (全82大学) 20大学 (全74大学) 457大学 (全566大学) 520大学 (全722大学) [2009年]
	公立 26大学 (全88大学) 30%	
	私立 474大学 (全586大学) 81%	
	合計 554大学 (全756大学) 73%	

# 国立大学のAO入試の推移



# AO入試の長所と短所

- u 長所
  - u ミスマッチが少ない
    - | 両者の理解の下、入学してくる
    - | 大学の理解、満足度
  - u 「カナリア効果」: 他の学生への波及効果
  - u 学力に明確な差はない: 前期、後期、AO
    - | 渡辺・福島(2008)、「公表データからみるAO入学者の評価」、大学入試研究ジャーナル、No.18。
  - u 学部教員に高校生を見せる
- u 短所
  - u 手間がかかる : [魅力的な学生が確保できる]
  - u 高校側からは対策が立て難い : [そうあるべき!]

# AO入試の + と -

## 受験生・高校

## 大学

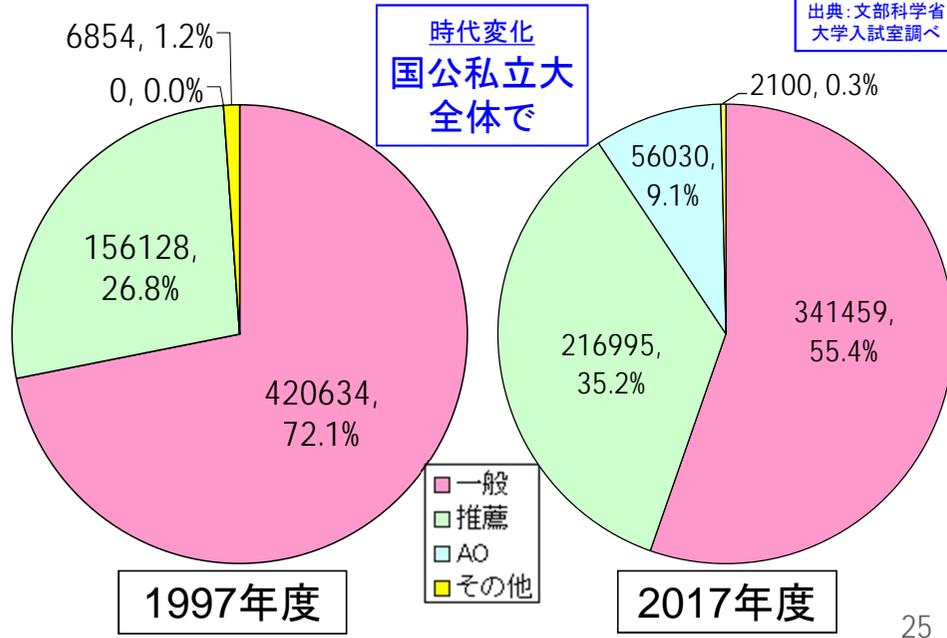
+ (長所)	+ (長所)
学力以外の資質も見てもらえる	大学に必要な資質を見る
大学・学部をよく知って入学できる	丁寧に選抜できる
大学生活を模擬体験できる	意欲・関心の高い学生を早く得られる
大学・学部への適合率が高い	直接受験生と接することができる
- (短所)	- (短所)
どう指導して良いか難しい	手間暇がかかる
評価・判定の基準が判り難い	基礎学力を測るのが難しい
落ちた場合を考えるとリスクである	他人の知恵が入っているかも
	対策への対策の工夫をどうするか

# AO入試: 国立大と私立大

- u 設置者に因って明らかに異なる
  - u 割合 ==> 次ページ
  - u 試験方法
  - u 導入目的も?
- u 国立大: 「学力不問」ではない
  - 学力も重要な「評価対象」の一つ

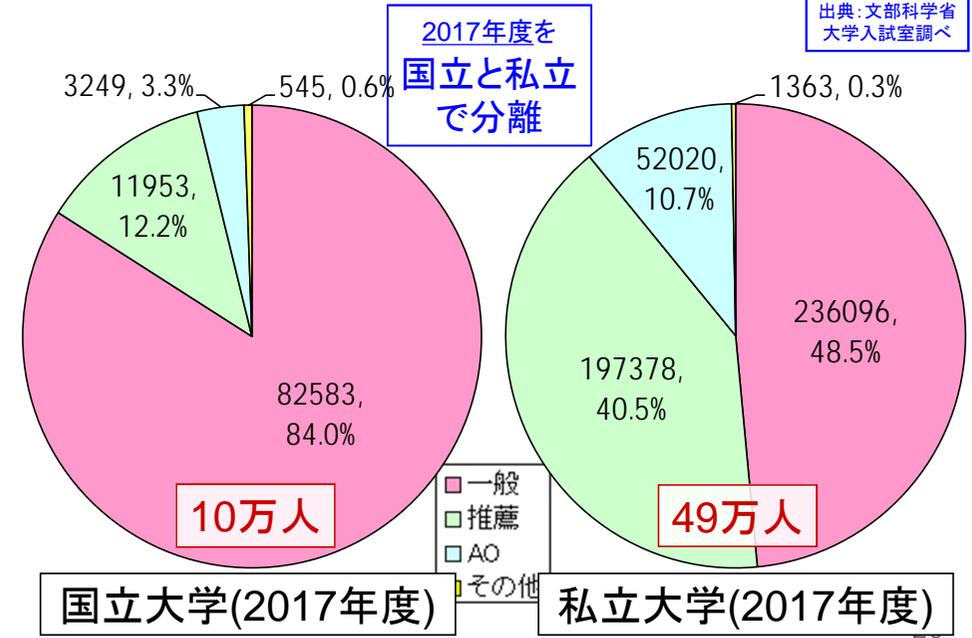
## 選抜区分別入学者数の割合

出典: 文部科学省  
大学入試室調べ



## 選抜区分別入学者数の割合

出典: 文部科学省  
大学入試室調べ



## 日本のAO入試

- 国公立大学と私立大学とで全く異なると考えてよい
- アメリカのAO入試とも異なる
  - 主に事務員(Officer、not 教員)が関与
  - この中にもいくつかのタイプがあるのかもしれないが
- AO入試: 同じ名称だが、3つとも違ったものである
  - 「日本の国公立大学」のAO入試
  - 「日本の私立大学」のAO入試
  - 「アメリカ」のAO入試
- それぞれは区別して議論すべき: 国公立、私立、米、韓
  - 区別しないと非生産的な議論にしかない
  - 「学科試験を課していないから……」はダメ
  - 「AO入学の学生は……」はダメ

27

## AO入試のいろいろな選抜方法(1)

- 具体的な評価方法としては、例えば、次のようなものが考えられる。(本文 P42)
  - 「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の結果
  - 自らの考えに基づき論を立てて記述させる評価方法
  - 調査書
  - 活動報告書
  - 各種大会や顕彰等の記録、資格・検定試験の結果
  - 推薦書等
  - エッセイ
  - 大学入学希望理由書、学修計画書
  - 面接、ディベート、集団討論、プレゼンテーション
  - その他 [ 例えば、総合的な学習の時間などにおける生徒の探究的な学習の成果等に関する資料や面談などが考えられる。 ]

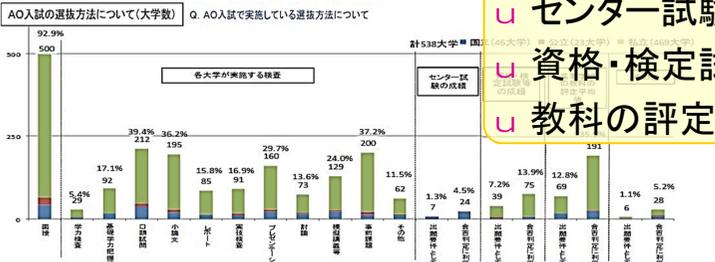
高大接続システム改革会議「最終報告」の公表について(平成28年3月31日)

## AO入試のいろいろな選抜方法(2)

- u 面接
- u 学力検査
- u 基礎学力把握検査
- u 口頭試問
- u 小論文
- u レポート
- u 実技検査
- u プレゼンテーション
- u 討論
- u 模擬講義等
- u 事前課題
- u 書類審査

### AO入試の実施状況について(平成26年度入試)

AO入試: 詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせて、入学志願者の能力・適性や学修に対する意欲、目的意識等を総合的に判定する入試方法。



高大接続システム改革会議「最終報告」の公表について(平成28年3月31日)

## [例] 九州大学 AO入試の選抜方法

セ試	学部等	1次選抜	2次選抜		
課さない	21世紀プログラム	書類審査	講義・レポート/討論, 小論文, 面接		
	教育	小論文	プレゼンテーション, 面接		
	法	(小論文)	(口頭試問)	09年終了	
	薬	創薬科学 (書類審査)	(小論文, 面接)	12年終了し 後期に移行	
	臨床薬学	(書類審査)	(小論文, 面接)	15年再登場	
課す	法	書類審査	英語学力試験, 面接	センター試験成績	
	物理		課題探求試験, 面接		
	化学		面接		
	地球惑星		課題探求試験, 面接		
	数学		課題探求試験, 面接		
	生物		面接		
	医		保健(3専攻)		小論文, 面接
	歯				小論文, 面接
	芸工		環境設計		面接, 実技
			工業設計		面接, 実技
			画像設計		実技
音響設計		小論文, 実技を含む面接			
農	芸術情報設計	小論文, 実技			
		小論文, 面接			

## [例] 九州大学 AO入試 選抜方法

実施学部等のアドミッションポリシーにより異なる

### 小論文(理を除く学部学科で実施)

正解のない課題

資料の理解力や論理的思考力・表現力を見る

### 課題探求試験(理)

簡単な実験を行って考察する(物理・地惑)

数学的思考力が問われるやや難しい問題(数学)

### 面接等(全ての学部学科で実施)

個人面接 and/or 集団討論(法、医・保健、歯、21cp)

午前小論文 or 課題探求試験があればその試問

## [参考] 九大21cpの選抜方法 <参考資料に詳細へのリンクあり>

### The 21st Century Program 選抜の流れ

願書受付	9月下旬	9/16(水)~25(金)
	調査書, 志望理由書, 活動歴報告書	
第1次選抜	10月中旬 書類審査	10/16(金)頃 1次合格発表
第2次選抜	11月上旬	
第1日目	講義・レポート (3テーマ)	10/31(土)
第2日目	集団討論, 小論文, 個人面接	11/ 1(日)
合格発表	11月下旬	11/25(水) 2次合格発表

選抜の過程が入学後の修学の過程

## 【参考】九大21cpの選抜方法

### 第1次選抜

- u 出願時提出資料
  - u 志望理由書(2面)
    - l 志望する理由、自己の適性や抱負
  - u 調査書等(内申書)
  - u 活動歴報告書(2面): 中学からの活動を記載可
    - l 各種活動、表彰、資格等
- u 書類審査
  - u 「AP」や「求める学生像」との合致度合を評価
    - l 理念の理解度等
  - u 試験場施設の関係から3倍程度に絞る  
(2016年度の例では77名。3.0倍)

33

## 【参考】九大21cpの選抜方法

### 第2次選抜



#### 第1日目(土曜日)

- 9:30-11:30 講義1・レポート1 (120分)
- 12:30-14:30 講義2・レポート2 (120分)
- 15:00-17:00 講義3・レポート3 (120分)

軸が違う3コマ  
講義: 約50分  
レポート: 約70分

講義や資料に  
英語を含むことがある

#### 第2日目(日曜日)

- 9:00-11:30 集団討論 (150分)
- 12:30-17:00 小論文 (270分)、個人面接

論題は当日朝に提示(“予習”を避けるため)

3つの講義から2  
つを選んで討論

15分/人

3つの講義のいずれかに関連  
するテーマを設定して作成

随時別室で休憩可

34

<<参考資料に詳細へのリンクあり>>

### Admission Officerに求められるスキル

- ◆ 「大学」の熟知
    - ◆ 自大学のみならず他大学も
  - ◆ 高等教育の在り方
    - ◆ 在るべき姿が語れるか
  - u 入試業務・仕組みの把握
  - u 入試動向・教育行政の把握
  - u (初等&)中等教育の把握
  - u 情報処理・統計処理技術
    - u データハンドリング、データ解析、報告
  - u プレゼンテーション能力?
- u 入試課との連携
  - u IR部門との連携
  - u 学内での発言力
  - u グループワーク

【私見】

- u 高大接続を担っているという気概
- u 高校と大学の関係性  
(単なる高校教員の支援ではなく)

35

### 5. まとめに代えて(1)

- u 多面的・総合的入試 <=== グローバル化、少子化等に向けて
  - u 『学力の3要素』を測る: 「知識・技能」のみならず「思考力・判断力・表現力」や「主体性・多様性・協働性」
- u 試験方法・評価方法
  - u これまでの方法の組み合わせ? 改良? 新手法開発?
- u 共通試験: 過度な期待は禁物
  - u 目標が明確で、努力が評価される試験とすべき
  - u 記述式、英語4技能(CEFR): どうしたものか?
- u 大学入試は文化や教育制度に根ざして  
開発・運用されるべき: グローバル化とは対極
  - u 他国の良例がそのまま流用できるわけではない
  - u 日本に最適な方法を編み出す必要。知恵を出すとき。
    - l 学習指導要領が策定されている国の利点を活かして

36

## 5. まとめに代えて(2)

### u 大学入試のこれから

u 多様な学生の受け入れ <=== 時代の趨勢

u 道具立てだけでなく、考え方についても

- l 選抜方法[道具立て]の整備・充実は勿論だが、高等教育として「望ましい入学者像」、「修学環境」を不断に思考・模索すること[考え方、哲学]が重要ではないか

u Admission Officerを核として機能させる

- l 選抜方法の確立、体制の整備、社会的認知、人材育成、.....

### u 入り口管理の国から出口管理の国へ(夢?)

u 定員管理の弾力化、大学中退の許容、生涯教育(途中再投入)の普及等

u より良い「高大の接続実現」を目指して!!

37

## 参考資料

u 名古屋高等教育研究 第18号(2018)

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/publications/journal/eighteenth.html>

u 林 篤裕(2018),「アドミッション・オフィスの機能と役割 ー多面的・総合的評価を実現するためにー」, 名古屋高等教育研究 第18号, PP39-53.

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/publications/journal/no18/03.pdf>

<http://stat.web.nitech.ac.jp/haifu/#NKKK18>

u 木村 拓也, 田尾周一郎, 林 篤裕, 副島 雄児(2018),「総合的且つ多面的な評価に基づく入学者選抜とその学修成果の可視化 ー九州大学21世紀プログラムの事例ー」, 名古屋高等教育研究 第18号, PP177-198.

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/publications/journal/no18/10.pdf>

<http://stat.web.nitech.ac.jp/haifu/#NKKK18-21cp>

u 林 篤裕(2013),「九州大学21世紀プログラムの紹介 ~選抜方法を中心に~」, 中央教育審議会 高大接続特別部会(第7回) 配布資料, 三田共用会議所(東京), 平成25年(2013年)5月24日。

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo12/giji\\_list/index.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo12/giji_list/index.htm)

(※「高大接続特別部会△第7回△議事録」で検索すると、「第7回」のところに議事録と配付資料へのリンクあり(10月3日時点では))。

38

## 6. 事前にいただいたご質問に対して

【原文ママ】事務局まとめ (2018年9月20日 20:28)

1. 面接の評価方法について

(1) 配点等について他学の例など

(2) 書類点と面接点のそれぞれの配点を明記する必要がありますか。

2. 学力の3要素である「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法について具体的に何か参考になるものがあれば ⇒ 九州大学21cpでは「集団討論」を導入していた。

3. 調査書の評価方法について

(1) 文部科学省「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について(通知)」では、「調査書等を「どのように」活用するかを各大学募集要項等に明記」とされています。例えば、「調査書の評定、クラブや社会活動、資格、コンペの成績、志望理由」を総合的に評価する、という表現で良いですか。もっと具体的に、どのような活動や資格を評価する、と示す必要がありますか。また、上記それぞれの項目の配点を公表する必要がありますか。

(2) 調査書等の採点方法について、具体的な方法について教えてください。レベルの異なる高校毎の評定の点数化や、その他活動の点数化など。⇒ 高校間格差を正確に反映させるのは困難であろう。

4. APで示す必要な能力・適性等を複数個(例えば①②③④⑤) 列挙した場合、すべての選抜方法でこれら全てを評価する必要がありますか。学生の多様性を確保するために、選抜方法Aでは項目①②③だけを評価し、選抜方法Bでは項目②④⑤だけを評価する、ということは問題ありますか。⇒ むしろこのような運用が好ましいのではないかと。

5. 大学共通テストについて

(1) センター試験の国語の成績提供は、現在「近代以降」「古文」「漢文」と別々だが、共通テストでは一括化を検討している、とされていましたが、検討状況が分かれば教えてください。⇒ 初耳。旺文社のH29年7月の記事とのこと。検討されていないのではないかと。国公立大学にとっては、影響はないようにも思える。

(2) センターは共通テストとは別に、各大学の個別試験用の国語の記述式問題(+採点基準)を用意することを検討している、とされていましたが、検討状況が分かれば教えてください。⇒ 研究・調査が実施されているようだ。

39

## 6. 事前にいただいたご質問に対して

6. 林篤裕「思考力・表現力の評価に重点を置いた選抜試験」のなかで「第1次選抜の評価があまり高くない者でも、21CPIにとって魅力的な受験生である可能性があることである。そのため、第1次選抜で安易に不合格に...この査定も慎重に行う必要がある。」(5頁)とあるが慎重な査定について具体的な対策方法があるのであれば教えていただきたいと思います。⇒ 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課編集『中等教育資料 2015年5月号』, PP20-25の記事。第1次選抜での不合格候補者について、取り逃がした時の損失が大きいかどうかで判断する。もしくは、第2次選抜で上位に位置した場合に合格させることが可能か判断する。

7. 入試問題、解答例の公表について

貴校では、入試過去問題及び解答例をホームページに3年分を公開されているが、公開時期はいつごろか。また、公表した場合の外部から指摘があった場合、どのような体制で対応しているのかご教示いただきたい。⇒ 合格発表前に公表(H30では前期日程を3月1日に、後期日程を3月19日)。まず作題者間で検討し、必要となればその時点で可能な対応を粛々と行う。

8. 貴校の平成33年度入学者選抜における予告について ⇒ 何れも検討中

(1) 英語の外部の認定試験については、「CEFRによる対照表に基づき点数化する」とあるが、どの程度の点数にされる予定なのか。また、大学入学共通テストの点数に加算することになると、マークシート式問題が満点だった場合、配点を上回ることになるのか、ご教示いただきたい。

(2) 個別試験について、「高度な記述式試験の実施に努める」とあるが、具体的にどのような問題作成を検討されているのか、ご教示いただきたい。

(3) 調査書等の資料の活用についての検討状況をご教示いただきたい。

9. 貴校の事務局体制について

事務局組織として、入試課は何人体制なのか。また、アドミッションオフィスの体制はどうなっているのか、業務をどう分担しているのかを含めてご教示いただきたい。⇒ 入試課 9名。AOはバーチャル。協調して対処。

10. AO入試の効果について

貴校の一部学科で、募集人員3名のみAO入試があるが、少人数募集するは事務処理等の手間はかかると思うが、効果はどうかご教示いただきたい。⇒ 事務処理だけでなく募集開始前の8月にはスクーリングも。相当な手帳。

40